

温度急変対応 温湿度サイクル試験

詳細はこちら <https://www.oeg.co.jp/Rel/nurushime.html>

概要 温湿度試験は、電子部品や装置が周囲温度の変化や湿度にどのくらいの耐性があるかを確認する環境試験のひとつです。恒温恒湿槽は多くの環境試験に使われる装置ですが、OKIエンジニアリングでは急速温度変化対応のハイパワー恒温恒湿槽で幅広い条件に対応します。

- 特長**
- ・ -15 ～ 155 において、15 /分の温度変化に対応
 - ・ -70 ～ +180 の広範囲の試験が可能
 - ・ 一般的な恒温恒湿槽より広い範囲での湿度試験が可能（95℃にて10～98%rhで制御可能）
 - ・ 温度試験時に最大6000Wまでの発熱負荷を許容

ハイパワー恒温恒湿槽[15 /分仕様]

温度変化試験例

1. 急速温度変化試験

IEC(JIS C) 60068-2-14Nb、LV124 L-03
 温度変化速度：1、3、5、10、15 /分 (IEC)
 4 (LV124)

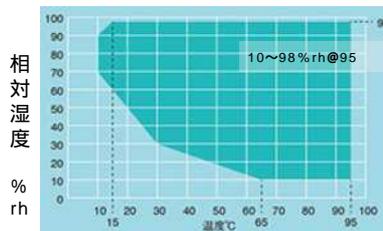
2. 温湿度サイクル試験

IEC(JIS C) 60068-2-30
 IEC(JIS C) 60068-2-38
 LV124 K-08 他

3. その他、各種環境試験

IEC(JIS C) 60068-2-1 低温（耐寒性）試験
 IEC(JIS C) 60068-2-2 高温（耐熱性）試験
 ISO 16750-4 5.3 他

温湿度制御可能範囲図
 (外囲温度23℃、無試料の場合)



ARSF-0400-15
 (西東京試験センター)

その他の特徴

- ・ 幅広い温湿度範囲で、近年増えている高温・低温・広い温度差のある試験に対応可能です。
- ・ 発熱負荷も最大6000Wまで許容しているため、発熱品の通電試験にも対応可能です。
- ・ 温度勾配、温度範囲、試験範囲等により、適切な試験機を選択します。

機器仕様

設備名	型名	製造者	主な仕様
ハイパワー恒温恒湿槽	ARSF-0400-15	エスベック	温度範囲：-70 ～ +180 温度勾配：15 /分 (上昇 / 下降) 湿度範囲：10～98%rh / 10～95 槽内寸法：W600×H830×D800[mm] 許容発熱負荷：6000W (槽内温度+20℃時) 350W (槽内温湿度：+25～95℃ / 90%rh以下)

OKIエンジニアリングでは多種の環境試験装置と確かな経験で幅広い信頼性試験を提供いたします。

規格試験以外の各種環境の組み合わせ試験

試験後の観察や各種測定

(強度試験、抵抗測定、鉛フリー評価全般)等

お客様のご要望に応じて対応いたします。ぜひご相談ください。